

# News Release

地域経済活性化支援機構

2020年12月23日

## 【ぐんま医工連携活性化ファンド】 株式会社Epsilon Molecular Engineeringへの出資について

株式会社地域経済活性化支援機構のファンド運営子会社であるREVICキャピタル株式会社が、ぐんぎんコンサルティング株式会社と共同で運営するぐんま医工連携活性化ファンド（以下「本ファンド」という。）において、株式会社Epsilon Molecular Engineering（本社：埼玉県さいたま市、代表取締役：根本直人、以下「EME」という。）からの第三者割当増資を引き受け、出資を実行しましたので、お知らせいたします。

EMEは2016年8月に設立され、新しいモダリティによる中分子バイオ医薬品シーズを創出するための技術を有し、新薬開発を行う製薬企業等に創薬支援事業を行っています。EMEは新薬シーズとなり得るアルパカ由来のVHH抗体(※1)を始めとした遺伝子の巨大ライブラリを保有し、これにcDNAディスプレイ等の高速スクリーニング技術を組み合わせることで、従来の技術より効果的・効率的に新薬シーズを取得することに成功しております。本年5月には、北里大学、花王株式会社と共同でプレスリリースした、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の原因ウイルス(SARS-CoV-2)の感染抑性能(中和能)を有するVHH抗体(※1)の取得に、当社技術が使用されたという実績があり、今後は治療薬や診断薬の開発に繋がることが期待されております。

今般、EMEはシリーズAラウンドとして三菱UFJキャピタル株式会社、花王株式会社、リアルテックファンドに加えて、本ファンドから資金調達を行い、事業の成長を加速させるべく、設備投資、研究開発や人材採用を積極的に行う計画です。研究開発に際しては、本ファンドが拠点とする北関東の大学・研究機関との連携にも取り組む予定です。

今後も本ファンドは、医療産業の振興に資する事業者に対し、事業の成長に必要なリスクマネーの提供を行うことで、「産・学・官・金」(※2)連携の構築による、地域経済の活性化並びに地方創生に資する産業のモデルケースを構築したいと考えております。

※1 VHH(Variable domain of Heavy chain of Heavy chain)抗体：ラクダ科動物由来の抗体。一般的な抗体と比較して10分の1の大きさで、高い安定性や微生物による低コスト生産が可能な特徴を有する。

※2「産・学・官・金」とは、産業界、大学等学術機関、国・自治体、金融機関の略称

## 【参考】

### cDNAディスプレイ法を用いたスクリーニング



### VHH抗体によるコロナウイルスの感染抑制に関するニュースリリース

<https://www.epsilon-mol.co.jp/news/20200507/>

### 会社の概要

企業名	株式会社Epsilon Molecular Engineering
設立	2016年7月
本社所在地	埼玉県さいたま市中央区
代表取締役	根本 直人
事業内容	製薬企業や化学品企業等に対するVHH抗体・環状ペプチド等を活用した創薬支援事業

## ぐんま医工連携活性化ファンドの概要

名称	ぐんま医工連携活性化投資事業有限責任組合
ファンド総額	8.6億円
組合員	株式会社群馬銀行 株式会社東和銀行 桐生信用金庫 あかぎ信用組合 群馬県信用組合 株式会社地域経済活性化支援機構 REVICキャピタル株式会社 ぐんぎんコンサルティング株式会社
業務運営者	REVICキャピタル株式会社 ぐんぎんコンサルティング株式会社
設立日	2014年11月17日

### <お問い合わせ・ご相談の連絡先>

地域経済活性化支援機構(REVIC)

〒100-0004東京都千代田区大手町1-6-1大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310

地域活性化支援部: TEL 03-6266-0590 担当: 佐藤 剛、荒井 俊樹